

薬剤部会オンラインセミナー プログラム

内容・講師等(敬称略)

講演 I

演 題 「令和2年度診療報酬改定と改正薬機法(薬剤師法)のポイント」

講 師 浜松医科大学医学部附属病院 教授・薬剤部長

川 上 純 一

令和2年度診療報酬改定では、薬剤師の病棟業務に対する評価の充実、入院患者におけるポリファーマシー解消の推進、外来患者における重複投薬解消、外来がん化学療法の質向上のための総合的な取り組み、フォーミュラリー関連およびジェネリック・バイオシミラーの使用促進などについて概説します。改正薬機法では、薬機法と同時に改正された薬剤師法・薬剤師法施行規則についてポイントをご説明します。

講演 II

演 題 「薬剤師の卒後教育について」

講 師 神戸市立医療センター中央市民病院 院長補佐・薬剤部長

橋 田 亨

団塊の世代が後期高齢者となる2025年を目前にするなか、COVID-19の世界的パンデミックにみまわれ、日本の医療体制は大きな転換を余儀なくされております。薬剤師はその全ての局面で重要な役割を果たすことが期待されており、この大波をとらえ乗り越え得る人材の養成は喫緊の課題であります。今回は、全国規模の調査で明らかになった卒後初期研修の実態、薬剤師レジデントの先進的な取り組み、専門性の高い薬剤師へと導くキャリアパスについて、具体的な事例も紹介しながらご説明します。

講演 III

演 題 「自治体病院から地域につなぐ薬物療法と薬剤師の役割」

～コロナ危機の地域医療をどう考えるか～

報 告 者 神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部長代行 兼
神戸市立神戸アイセンター病院 薬剤部長

室 井 延 之

(薬剤部会部会長)

「病院完結型」から「地域完結型」医療への転換が加速度的に進む中、地域での自治体病院の役割を再確認し、その中での病棟薬剤業務、入退院支援業務や薬剤師連携の展開が大切になります。薬剤管理の実態調査結果から、全国での薬剤業務の取り組み、薬剤師偏在の状況について報告するとともに、コロナ危機における地域医療のあり方についても情報共有いたします。